

発行元: 株式会社アークフラッシュ本部

東京都新宿区百人町2丁目26番9号

<http://www.arc-flash.co.jp>

アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は8年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュ NEWS をダウンロードによりご覧頂けます

残暑見舞い申し上げます。

アークフラッシュ本部も夏休みを頂、皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

おかげ様で大物を釣り上げる事ができました。皆様にも夏バテで体調を崩さないようにお願い申し上げます。



南伊豆 妻良港 4.1kg

定 年 時 代 H20. 8月下旬

◆新しい光触媒塗料で
外壁をリフォーム
増改築工事会社の
「TOTOMORIModelク
ラブ」加盟店・トータ
ルワイド(さいたま市)
は、TOTOOの新しい
光触媒塗料ECO50
0を使った外壁塗装を
行っている。同社は31
日(日)まで、家の外
壁全体をリフォームす
る「まるごとリフォーム

キャンペーンを実施中
だ(限定10棟)。
太陽光に反応して建
物の外壁についた大気
汚染物質を分解するE
CO500。同塗料を
使用した「まるごとパ
ック」は、家全体の外
壁洗浄から下地処理、
下塗り、仕上げ(破風
・軒天・雨どい含む)
までを行う。家の外周
×高さの総面積が16
0平方メートル、2階建て
までのパック料金は73
万6000円。161
平方メートル以上は別途料
金。

また、キャンペーン
中の成約に限り、住宅
用火災報知機「なるる」
(東芝製)を1棟あた
り5個取り付ける特典
も。見積もり無料。
問い合わせは☎01

<<食中毒情報>>

岐阜市に20日までにいった連絡によると、同市玉宮町2の飲食店「備長やきとり 縁屋」で7日夜に飲食した18、19歳の男性3人が下痢や腹痛などを訴えた。患者と従業員から食中毒菌「カンピロバクター」を検出したため、市保健所は同店の料理が原因の

食中毒と断定。同店を20～24の5日間、営業停止処分とした。入院患者はおらず、全員が快方に向かっているという。

大分市は16日、同市光吉の飲食店「炭屋」で会食した職場の同僚6人のうち4人が食中毒症状を発症したと発表した。市保健所によると、7日夕、同店で焼き鳥などを食べた。10日朝に4人に下痢や発熱などの症状が出て、病院で診察を受けた。検査した3人のうち2人から食中毒菌のカンピロバクターが検出された。市保健所は同店を16日から3日間の営業停止処分にした

岡山市保健所は13日、同市西市の宅配弁当店「スエヒロフーズ」の弁当を食べた22～62歳までの男女計9人が、下痢や腹痛を訴えたと発表した。入院者はおらず、全員快方に向かっている。同保健所によると、9日に市内の2事業所で計14人が同店の弁当を食べ、うち9人が症状を訴えた。共通の食事は弁当しかなかったため、集団食中毒と断定した。同店は9日、約170事業所に計約780食の弁当を配っているため、異状がないかどうか引き続き調べる。同保健所は、同店を18日まで5日間の営業停止処分にした

さいたま市は13日、JR大宮駅(さいたま市大宮区錦町)構内の飲食店「かにチャーハンの店 ECUTE大宮店」で、サルモネラ菌を原因とする食中毒が発生したと発表した。市保健所は13日から3日間、営業停止処分とした。6日に同店で飲食した19歳の女性2人が下痢や発熱などの症状を訴え、うち1人が4日間入院した。入院した女性と調理従事者2人の便からサルモネラ菌が検出されたため、同店の食事が原因の食中毒と断定した

千葉市は12日、同市緑区おゆみ野3の飲食店「焼肉 飛苑(ひえん)」で飲食した同区の女性(23)ら男女3人が下痢や腹痛、嘔吐(おうと)などの症状を訴え、うち2人の便から食中毒の原因菌「カンピロバクター」を検出したと発表した。全員快方に向かっている。市は同店を食品衛生法に基づき、12日から3日間の営業停止処分とした。女性らは7月26日に来店し、焼き肉やユッケ、レバ刺しなどを食べた

埼玉県は20日、三郷市立彦成保育所の園児8人と、職員、保護者各1人の10人が病原性大腸菌O26に感染したと発表した。6人が下痢などの症状を訴えたが、快方に向かっている。男児1人が今月6日に発症。14日にO26を検出した。越谷保健所の指導で、保育所の園児68人のうち60人と職員25人らが検査を受けた。県疾病対策課は「菌がついた手などから口に入った経口感染の可能性が高い」としている

<<インフルエンザ情報>>

「インフルエンザの非流行期」とされる今年7月に千葉県内の小学校で集団発生した「B型インフルエンザ」について、国立感染症研究所感染症情報センターは8月18日、「今

回の集団発生は Victria(ビクトリア)系統だった」との調査結果を発表した。同センターによると、発熱などで生徒が欠席した最初の日は 6 月 30 日で、7 月 7 日(26 人欠席)をピークに 18 日まで続いた。主な症状は発熱(79%)、消化器症状(33%)、呼吸器症状(15%)だった。欠席者の総数は 94 人で、「胃腸炎」「咽頭結膜熱」と診断された患者もいたが、「迅速診断キット陽性例」を含む 25 人がインフルエンザと診断された。千葉県では、2007 年 10 月ごろから今年 2 月まで、主に「インフルエンザウイルス AH1 亜型」が検出され、3 月以降は「AH3 亜型」の検出が増加した。B 型は 2 月と 3 月に 1 株ずつ検出され、いずれも「山形系統」だったが、今回の集団発生は「Victria(ビクトリア)系統」だったという。同センターでは、「今回の流行は次のシーズンの発生動向の重要なデータとなり得るので、非流行期の発生に注意を要する」としている。

*** 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部**
笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.co.jp

過去のアークフラッシュ NEWS はホームページよりご覧になれます。